

肉用牛研究所 改良研究室

課題名

黒毛和種の高品質な凍結精液の生産と譲渡

期間・区分

昭和 27 年度～、県単

背景・目的

優良種雄牛を適正に飼養管理し、高品質な凍結精液の生産と譲渡を行った。

方法

種雄牛及び候補種雄牛を繋養し、精液を採取して凍結した。このうち、検査に合格したものを保存し、希望に応じ県内に譲渡した。

成果・評価

候補種雄牛を含め 13,025 本を生産し、5,927 本を譲渡した。(※試験配布、廃用除く)

課題名

肉用牛広域後代検定推進事業（直接検定）

期間・区分

平成 11 年度～、県単

背景・目的

肉用牛の改良を図るため、育種価等の遺伝的能力評価が高い雄子牛を導入し、直接検定を実施した。

方法

全国和牛登録協会が定める和牛種雄牛産肉能力検定法(直接検定法)により選抜した。

成果・評価

夢美桜号、柴咲号の 2 頭を選抜した。

(直接検定結果)

- 夢美桜（父：美国桜、母の父：勝忠平）、1 日平均増体量：1.34kg/日、365 補正体重：437.7kg、審査得点：83.6 点

- 柴咲（父：勝乃幸、母の父：安福久）、1 日平均増体量：1.27kg/日、365 補正体重：377.5kg、審査得点：81.5 点

課題名

肉用牛広域後代検定推進事業（後代検定）

期間・区分

平成4年度～、県単

背景・目的

直接検定により選抜された候補種雄牛の現場後代検定（以下、後代検定という。）を実施し、優秀な種雄牛を選抜した。

方法

公益社団法人全国和牛登録協会が定める産肉能力検定（現場後代検定法）により選抜した。

- 1 検定場所：茨城県畜産センター肉用牛研究所、全国農業協同組合連合会茨城県本部肉用牛哺育育成センター、民間農場（繁殖・肥育一貫農場）
- 2 供試牛頭数：概ね18頭/1種雄牛
- 3 出荷月齢

去勢 29か月齢未満

雌 32か月齢未満

成果・評価

令和2年度は、候補種雄牛「百合宏」「北勝関」産子の後代検定が終了し、令和元年度に後代検定が終了した「北平関」を加えた3頭を茨城県肉用牛育種改良推進専門部会で協議した結果、「百合宏」「北平関」の2頭を種雄牛として選抜した。

「北平関」は、枝肉重量が基準値を大きく上回ったほか、ロース芯面積やバラの厚さ、脂肪交雑において、父牛である「北国関7」を上回る検定結果であったことから「北国関7」の後継種雄牛として、本県の肉用牛の改良に寄与することが期待される。

（後代検定結果：育種価の比較）

	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪の厚さ	歩留基準値	脂肪交雑
	Kg	cm ²	cm	cm	%	BMSNo
基準値	62.3	12.78	1.15	-0.36	2.07	2.51
「百合宏」	44.1	11.39	0.93	0.34	1.37	2.36
「北平関」	141.3	12.07	2.11	0.23	1.17	2.60
「北勝関」	35.3	9.20	1.60	0.22	1.70	1.71

※基準値及び各種雄牛能力値は選抜時（令和2年7月）の育種価